



第2期小豆島町の総合戦略

令和2年3月30日

令和5年3月22日 一部改訂

第2期小豆島町の人口ビジョンと総合戦略 2020～2024

【 ～人が集い、元気なまちを目指して～ 】

【 基本理念 】

小豆島の豊かな自然、文化、伝統、産業、人と人の絆などを守り、その魅力を磨き、新しい価値を加えて、次の世代につなげていく

日本や世界の人々との関係をつくり、お互いに交流し、みんなで助け合いながら、島の魅力を高める

自分たちのことは、自分たちで考え、行動し、変えていくという、本来の姿を取り戻す

地域の連帯感や助け合いの心で、自分たちの地域に誇りと自信をもって地域をつくっていく

人口ビジョン

❖ 毎年度移住者140人(うち70人が定住)を目指す。
国の長期ビジョンと同様の合計特殊出生率(2040年に2.07)を達成した場合、2060年の人口は、約8千8百人(社人研推計約5千2百人)になる。

❖ 高齢化率においても、42.3%(社人研推計55.9%)となり、バランスのとれた人口構成に向かっていく。

法律に沿った基本目標

まち

日々の暮らしを大切に人と人がつながりみんなが幸せでより良い地域社会をつくる

地域福祉の充実と防災力の強化を図り、安全安心なまちを実現する

ひと

家族や地域を愛し、地域社会を担っていく個性豊かで多様な人財を育む

毎年度移住者140人を目指し、魅力的な人財を育む

しごと

地域の資源を活かし、小豆島ブランドを核とした産業づくりを進め、魅力的な働く場をつくる

小豆島ブランドを確立し、稼ぐ力を高めることによって所得の向上を目指す

第2期小豆島町総合戦略の基本戦略

【 ~人が集い、元気なまちを目指して~ 】

健康・福祉のまち

- 1. 健康づくり
- 2. 福祉の充実



産業のまち

- 3. 産業づくり
- 4. 農業・漁業の振興

行財政改革の推進

- 集中改革プラン
- 中期財政計画

所得向上による税収基盤の強化
地方創生推進交付金の活用
個人版・企業版ふるさと納税の活用

定住・交流のまち

- 5. 防災・環境
- 6. つながり・交流

教育・文化のまち

- 7. 子育て・人づくり
- 8. 文化・アート総合戦略

第2期小豆島町総合戦略の基本施策

【 ~人が集い、元気なまちを目指して~ 】

1. 健康づくり

- ①小豆島中央病院を核とした地域包括ケアシステムによる地域づくりを推進する
- ②オーリーブを用いた健康長寿の島づくりを推進する
- ③健康づくりのリーダーの養成、自主的な健康づくりを推進する
- ④生涯現役を目指し、高齢者が多様な分野で活躍する社会をつくる

2. 福祉の充実

- ①特別支援学校、障害者支援施設の充実など地域の福祉(ぬくもりと希望の島づくり)をつくる
- ②医療・福祉の人財確保・育成を図る
- ③認知症があっても暮らすことができる社会をつくる
- ④地域の見守りシステムの構築を図る

3. 産業づくり

- ①地域資源を活かした小豆島ブランドを確立し、稼ぐ力を高めることによって、所得向上を目指す
- ②かがわ外国人相談支援センター等と連携し、外国人の受入と共生に向けたあり方をつくる
- ③農泊事業の展開等、島の新たな宿泊環境をつくる
- ④2025大阪・関西万博を絶好のチャンスにし、あらゆる手段を尽くして、小豆島のPRを実施する

4. 農業・漁業の振興

- ①人・農地プランの実質化を推進し、担い手の育成と農地の集積・集約化を実現する
- ②漁業振興協議会を核とし、漁港基盤の整備を図りながら漁業の振興に取り組む
- ③オーリーブトッパンプロジェクトを推進し、強い産業をつくる
- ④有害鳥獣対策を推進する

5. 防災・環境

- ①国土強靱化地域計画を策定し、ハード・ソフト両面の対策を推進する
- ②神戸航路を活用した寄港地との包括連携協定により防災対策の充実を図る
- ③中間処理施設を新たに整備し、ゴミの減量化等を推進することにより持続可能な地域社会の実現を目指す
- ④第2期空き家等対策計画を実践し、生活環境の向上を図る

6. つながり・交流

- ①地域おこし協力隊の制度を活用し、新たな視点で地域の魅力を引き出し、地域課題の解決を目指す
- ②小豆島を応援する関係人口の増加を目指すため、大学等との包括連携協定を増やす
- ③福武ハウスを活用するなど、国際化に向けた人財育成に取り組む
- ④通院、通学、物流、観光等の基盤となる道路・港湾・橋梁等の整備を進めるとともに、坂手港に観光振興ターミナルを整備し、観光や交流、移住等の推進を図る
草壁港については、香川県への移管を協議し、国、県、町、民の連携により観光港として整備を進める
- ⑤香川県や香川大学等と連携し、先端技術(自動運転、AI、5G等)の研究を推進する

7. 子育て・人づくり

- ①第2期すくすく子育て応援アクションプランを実践し、日本一の子育てを目指す
- ②小豆島でしか出来ない幼・保・小・中・高の一貫教育を実践する
- ③子どもたちにとって望ましい教育のあり方をつくる
- ④英語教育、情報教育、コミュニケーション教育を推進する
- ⑤誰もが生涯を通じ「まなび・つどい・つながる」環境づくりを進める

8. 文化・アート総合戦略

- ①瀬戸内国際芸術祭を通じて、国内外の交流を生み出し、お接待等により、地域の絆を再生する
- ②文化財保存活用地域計画を策定し、地域の文化・伝統を守り、活用し、継承していく仕組みをつくる
- ③せとうち備讃諸島の石の物語(日本遺産)の魅力を高め、みんなで活動することによって文化への自信と誇りを育む
- ④文化と教育の先端自治体連合を核とし、演劇やアートを通じたコミュニケーション教育を推進する